

## 第2代地質調査所長巨智部忠承の 氏名(読み)の訂正

山田 直利<sup>1</sup>

巨智部忠承(1854–1927)は、和田維四郎<sup>つなしろう</sup>のあとを継いで第2代地質調査所長(1893年～1905年)を務めた人である。巨智部は20万分の1地質図幅(多数)、40万分の1予察地質図(4葉)、100万分の1大日本帝国地質図(地質調査所、1899–1900)の作成に携わったほか、常磐炭田、生野鉱山、秋田油田、清国遼東半島の調査を行ったことでも知られている(今井、1964、1966)。

今井(1966)は、巨智部の生い立ちを述べるに当たり、同氏の氏名に「こちべただつね」の振り仮名を付けた。「忠承」に「ただつね」の振り仮名をつけた根拠は何であったか、いまとっては分からない。しかし、この読み方は地質調査所百年史編集委員会(1982、p. 18)やナウマン・山下(1996、p. 172、p. 297)によっても踏襲された。

私は、巨智部が筆頭調査員であった「大日本帝国予察東部地質図」の紹介記事(山田、2009)を書くに際して、同地質図の英文版(Harada *et al.*, 1887)に調査員として“Tadatsugu Kochibe”の氏名が記されていることを知った。また、地質調査所から1893年のシカゴ万国博覧会に出品された出版物・標本の目録(Imperial Geological Survey of Japan, 1893)にも地質課長“Tadatsugu Kochibe”の名があった。因みに、新村編(1998)の「漢字・難読語一覧」を見ても、「承」の読み「つぐ」はあるが、「つね」はなかった。

以上のことから、私は巨智部忠承の正しい読みは「こちべただつぐ」であると考え、山田(2009)および山田(2011)においてそのように表記した。ところが、山田(2012a, b)は、そのことを忘れて、巨智部忠承に「こちべただつね」の振り仮名を付けてしまった。これは全くの間違いであったが、その間違いはそのまま放置されてきた。

その後しばらく経って、早稲田大学の加藤茂生氏は、矢島道子氏を経由して私に送られたメール(2022年2月25日付)の中で、上記の私の間違いを指摘され、また“Tadatsugu Kochibe”あるいは「こちべただつぐ」と記した文献は上記以外にいくつもあること(Yokoyama, 1890; 松原ほか、2010など)をお知らせ頂いた。

今回、私は改めて、巨智部忠承の名が「こちべただつぐ」

であることを再確認し、山田(2012a、p. 45、左段)および山田(2012b、p. 162、第2図キャプション)に記した巨智部忠承の読みを、「こちべただつね」から「こちべただつぐ」に訂正する。

**謝辞：**巨智部忠承の正しい読みの載った多くの文献があることを教えていただき、合わせて私の間違いを指摘された早稲田大学人間科学学術院の加藤茂生氏に厚くお礼申し上げます。

### 文 献

- 地質調査所(1899–1900)100万分の1大日本帝国地質図  
および同説明書。農商務省地質調査所、376p.
- 地質調査所百年史編集委員会(1982)地質調査所百年史。  
地質調査所創立100周年記念協賛会、162p.
- Harada, T. (compiler), Ban, I., Kochibe, T., Nakashima, K., Nishiyama, S., Suzuki, T., Yamada, A., Yamashita, D. and Yokoyama, M. (1887) Geological Survey of Japan, Reconnaissance Map, Geology, Division II, Scale 1:400,000. Tokyo.
- 今井 功(1964)地質調査事業の先覚者たち(5)、応用地質学を開拓した人—巨智部忠承。地質ニュース、no. 119、37–43.
- 今井 功(1966)黎明期の日本地質学。地下の科学シリーズ、7、ラティス、東京、193p.
- Imperial Geological Survey of Japan(1893) *A catalogue of articles exhibited by the Geological Survey at the World's Columbian Exposition*. 49p.
- 松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘(2010)日本人による最初的新生代貝類の記載論文(巨智部、1883)とその図示標本の発見について。化石、no. 88、39–48.
- ナウマン、E. 著、山下 昇訳(1996)日本地質の探求—ナウマン論文集—。東海大学出版会、東京、403p.
- 新村 出編(1998)広辞苑、第5版。岩波書店、東京、2988p.

<sup>1</sup> 地質調査所(現産業技術総合研究所 地質調査総合センター) 元所員

キーワード：巨智部忠承、山田直利、今井 功、加藤茂生

山田直利(2009)原田豊吉編「予察東部地質図」—予察地質図シリーズの紹介 その2—. 地質ニュース, no. 660, 32-47.

山田直利(2011)巨智部忠承ほか7名の「予察西部地質図」—予察地質図の紹介 その4—. 地質ニュース, no. 679, 8-22.

山田直利(2012a)最古の九州-西中国地方地質図—「大日本帝国予察西南部地質図」(巨智部ほか, 1895)の紹介—. GSJ 地質ニュース, 1, 40-57.

山田直利(2012b)40万分の1大日本帝国予察地質図(1886-1895)の概要. GSJ 地質ニュース, 1, 161-164.

Yokoyama, M. (1890) Jurassic plants from Kaga, Hida, and Echizen. *The Journal of the College of Science, Imperial University of Tokyo*, 3, 1-66.

---

YAMADA Naotoshi (2026) A correction of the first name of T. Kochibe, the second director of the Geological Survey of Japan.

---

(受付: 2026年3月18日)